

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1434
施設名	下高井戸保育園
施設所在地	東京都杉並区下高井戸3-31-11
法人名	社会福祉法人けいわ会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

さつまいも

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園庭に畑があり毎年さつまいもを作っているが、ただ苗を植えて、水をやって収穫し、焼き芋にして食べるといった流れであった。しかし、もっと子どもたちの探求心を掘り起こし、さつまいもを深く知り、食料としての作物への思いを持てるようにしたい。

2. 活動スケジュール

	日時	活動内容	対象クラス
①	5月20日	畑準備	職員
②	5月14日	苗植え	4.5歳児
③	5月24日	水やり	4.5歳児
④	5月27日	夏野菜を植える	3.4.5歳児クラス
⑤	5月30日	雑草取り	4.5歳児クラス
⑥	7月16日	〃	4.5歳児クラス
⑦	8月23日	〃	4.5歳児クラス
⑧	10月31日	芋の話	5歳児クラス
⑨	11月6日	いもほり	4.5歳児クラス
⑩	11月6日	芋のリース作り	5歳児クラス
⑪	11月8日	焼き芋	全クラス
⑫	11月11日	芋を描こう	5歳児クラス
⑬	11月12日	芋のお菓子作り	5歳児クラス
⑭	11月18日	芋の食べ比べ	4歳児クラス
⑮	11月22日	お菓子作り	4歳児クラス
⑯	12月2日	ミカン狩り	3.4.5歳児クラス

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
畑準備…腐葉土・ゴミ袋・耕運機・コードリール・大型シャベル
苗植え…芋苗・シャベル
水やり…ジョウロ
雑草取り…シャベル・ゴミ袋・手袋
芋の話…絵本（おいもができた）・マイク
いもほり…手袋・スコップ・マイク・秤・ブルーシート
芋のリース作り…芋の蔓・リボン・はさみ
焼き芋…ホイル・新聞紙・炭・着火剤・レンガ・ライター・マイク・机・
トレー・まな板・包丁・御座・紙コップ・麦茶・マイク
芋を描こう…絵の具・画用紙・パレット・筆・水溶き皿・芋
芋のお菓子作り…芋・餃子の皮その他・マイク
芋の食べ比べ…さつまいも（紅あずま・紅はるか・安穏芋・むらさき芋）
ミカン狩り…株式会社Jクレストによる【いどう果樹園】を実施。マイク

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

さつまいもの苗を植え、育てていき、収穫、焼き芋を行った。その中で芋が土の中でどのように育っていくのか、を絵本を通して知ったり、雑草を取ったり蔓返しをすることの意味を話し合いの中で伝えていった。大変な暑さの夏だったが、子どもたちは一生懸命畑仕事をしていた。スーパーマーケットで買えば簡単に手に入るさつま芋だが、育てるにはこんなに苦労するものだということをもっと感じているようだった。収穫後の芋の数え方も沢山話し合っ自分たちで思い付き（10個ずつの塊にして数える。）、秤で測る時も10キロがどのくらいなのかを想像し、水が入っているペットボトル5本分であることなどを教えてもらうことで、重さの概念が身に着いたようである。

また、ただ焼くだけでなく、スイートポテトを作ったり、芋の写生をしたりして、芋が身近になり、私たちの生活には欠かせないものであることを知り、さつまいもに愛着すら感じていた。最後に、人の口に入る物（食材）は全て土の中で育つわけではないことを実際に見て知ってもらおうと、木になるミカンの収穫を体感した。この感動を来年につなげていきたい。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

自分たちで育てたものが、こんなにも大きく立派に成長して、美味しくなるということに感動して、子どもたちの自己肯定感の獲得にもつながった。

「先生見て!」「すごい、すごい」の声が畑中に響き渡った。また、自分で作ったおやつが、とてもおいしかったことに感動し、家庭でもやってみたいと言っていたのが印象的だった。

蔓から白い液が出てきて、それが手に着くとなかなか取れないことも発見し、「これが着くと大変なことになる!」と発見したことを自慢げにしゃべっていたことにも成長を感じた。





5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

ひとつの素材に対して多角的に見せることによって、視覚のみならず、触覚や嗅覚までも総動員して知ろうとする子どもの姿があった。

また、楽しみながら、長い時間をかけてじっくりと掘り下げていくことによって、さつまいもに愛情が芽生えたように感じた。自分意見や発見をしっかり発言出来たところも良かった点である。育てる、という作業を尊いものとして感じ、感謝の気持ちをもって食材に向き合うことが出来た。